

北犬飼中・石川小地域コーディネーター 谷中恵子さん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

学社融合（学社連携の進んだ形：学校教育と社会教育が部分的に重なり合う形で協働して両者共有の教育・学習活動を行うもの：コミュニティ・スクールの前身）で学習支援系のボランティアはすでに行っていました。

例えば、ミニコンサートで演奏を子供たちに見せるなど。ボランティアの方々は、発表の機会が与えられることと子供たちの役に立っていることが原動力となり、意欲的に行ってくださいました。そういった機会がだんだん増えていき、コーディネートする人が必要になったため、引き受けました。

また、それ以前から石川小学校のカリブー（鹿沼市図書館ボランティア「KLV協会」；津田小の地域コーディネーター福井さんのコーナーで紹介している団体）の代表として活動していました。PTAの役員を務めていたので、皆さんに声をかけやすく、KLV会員が30名になるまでこのボランティアを広げてきました。そのような経緯から必然的にコーディネーターになりました。

Q コーディネーターとしての研修などは受けましたか？

国や県や市が主催する研修を受けました。仲間と泊を伴う研修に行ったこともありました。学社融合としては、鹿沼市ではもっとも古くから活動していますので、研修もたくさん受けさせていただきました。

Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

- ・学校が必要としている活動の講師を見つける。
- ・支援委員会を運営する。
- ・先生と地域の意見を調整する。
この3つが主な仕事です。



Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？

学校運営協議会の委員となっています。

北犬飼中

学校からの相談を受けて支援の協力やアドバイスをしています。
また、協力できるボランティア等の情報提供をしています。

石川小学校

ボランティア組織「涵養くらぶ」があり、組織立って活動しています。



北犬飼中学校の学校運営協議会の様子です。
学校運営協議会委員となって、校長先生から委嘱状を受け取ります。そして、「**地域とともにある学校づくり**」「**学校を核とした地域づくり**」のために熟議を重ねます。





石川小学校のボランティア組織「涵養くらぶ」の打合せです。涵養くらぶの「涵養（かんよう）」という名称は、学校の教育目標にあった文言を採用したそうです。



涵養(かんよう)・・・水が自然にしみこむように少しずつゆっくり養い育てること



この日は、先生方を交えて各種支援サークルごとの計画を確認したり、課題を確認して解決したりしました。大変すばらしい組織です。

Q コーディネーターのやりがいは何ですか？

- ・人と人とのつながりを作れること
- ・子どもたちの楽しい笑顔が見られること



Q コーディネーターの苦勞は何ですか？

ボランティアをお願いする際に、相手に負担をかけはしないかと考えることです。しかし、子供たちのためにと、思い切って話してみることにしています。

Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？

地域コーディネーターとして関わっています。

(学校から地域へ)

学校の環境整備などは、地域へ向けてのコーディネートを行っています。

(地域から学校へ)

地域のお祭りなどは、中学生の祭りへの参画(参加ではなく、スタッフとして活動してもらう)を学校と相談しながらコーディネートしています。

Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら…

地域のための恩返しと思い、活動しています。

これからのボランティアの参加を迷っている方に

ボランティアは、やった以上のことが返ってきますよ。

子どもたちから元気をもらえますよ。

パワーアップをしますよ。

と伝えたいです。

谷中さん、ありがとうございました。

谷中さんは、学校運営協議会委員として、北犬飼中学校・石川小学校・池ノ森小学校で、学校と地域のためにご活躍なさっています。(北犬飼中学校と石川小学校は、令和元年度に学校運営協議会を立ち上げました。池ノ森小学校は、今年度から学校運営協議会を立ち上げます。)

また、社会教育委員としても市全体のことを考えて奔走してくださっています。

飾らない人柄と誠実な仕事ぶりが皆さんに慕われ、「涵養くらぶ」のような組織が長く続いているのだと思います。

これからも、北犬飼地区と鹿沼市のために、そして子供たちのためにお体に気を付けてご活躍ください。

